

目 次

はじめに	5
まえがき	7

第 1 章

OHSAS 18001 : 1999

労働安全衛生マネジメントシステム要求事項及び対応文書一覧表	15
-------------------------------	----

第 2 章

主な用語の説明	23
---------	----

第 3 章

OHSAS 18001 制定の背景と要求事項の解説	27
---------------------------	----

第 4 章

OHSAS 18001 に基づく労働安全衛生マネジメントシステムの確立と文書化	61
---	----

第 5 章

労働安全衛生マネジメントシステム文書化の実際（株グローバル大森の場合）	75
-------------------------------------	----

第 6 章

労働安全衛生マニュアルの例	95
---------------	----

第 7 章

OHSAS 18001 対応社内規定・標準類（36 例）	153
------------------------------	-----

1	労働安全衛生方針管理規定	(TNA-4.1)	153
2	労働安全衛生方針	(TNA-4.2)	159
3	労働安全衛生初期リスク調査規定	(TNA-4.3.1-1)	162
4	リスクアセスメント規定	(TNA-4.3.1-2)	175
5	リスクアセスメント記録規定	(TNA-4.3.1-3)	182
6	リスクコントロール規定	(TNA-4.3.1-4)	190
7	リスクアセスメント見直し規定	(TNA-4.3.1-5)	200
8	リスクアセスメント KY(危険予知)規定	(TNA-4.3.1-6)	207
9	著しい労働安全衛生危険業務管理規定	(TNA-4.3.1-7)	213
10	労働安全衛生法規制管理規定	(TNA-4.3.2)	218
11	労働安全衛生管理運用規定	(TNA-4.3.3)	227
12	労働安全衛生マネジメントプログラム	(TNA-4.3.4)	237

13	組織及び責任と権限規定	(TNA-4.4.1)	246
14	労働安全衛生教育訓練規定	(TNA-4.4.2-1)	255
15	労働安全衛生資格認定規定	(TNA-4.4.2-2)	261
16	KY(危険予知)活性化対策規定	(TNA-4.4.2-3)	268
17	安全衛生委員会管理規定	(TNA-4.4.3)	276
18	労働安全衛生マニュアル管理基準	(TNA-4.4.4)	281
19	文書管理規定	(TNA-4.4.5-1)	285
20	社外文書管理規定	(TNA-4.4.5-2)	301
21	下請負契約者の労働安全衛生管理規定	(TNA-4.4.6-1)	311
22	安全衛生パトロール及び点検規定	(TNA-4.4.6-2)	318
23	緊急事態対応管理規定	(TNA-4.4.7)	330
24	計測器・監視機器管理規定	(TNA-4.5.1)	336
25	不適合管理規定	(TNA-4.5.2-1)	344
26	今後の労働災害発生予測推定規定	(TNA-4.5.2-2)	351
27	労働安全衛生記録管理規定	(TNA-4.5.3)	359
28	労働安全衛生内部監査管理規定	(TNA-4.5.4)	364
29	経営者による見直し管理規定	(TNA-4.6)	384
30	クリーンルーム要員の管理基準	(GN-30)	389
31	クリーンルーム用衣服の管理基準	(GN-31)	396
32	クリーンルーム用備品の管理基準	(GN-32)	404
33	クリーンルームにおける人に関する静電気対策基準	(GN-33)	409
34	クリーンルームにおける備品・機器・設備に関する静電気対策基準	(GN-34)	414
35	クリーンルームの清浄化計画基準	(GN-35)	422
36	クリーンルームの清浄化方法	(GN-36)	430

第8章

推奨帳票類一覧(85例)	439
--------------	-----

第9章

内部監査で見直す事項	445
------------	-----

第10章

審査の際によく質問される事項	451
----------------	-----

おわりに	457
------	-----

(株)グローバル大森	TNA-4.4.4-1 労働安全衛生マニュアル	制定 2000.5.11	4.4.2-1/2 頁
第 4.4.2 章 訓練、自覚そして能力		改定	改定版数

第 4.4.2 章 訓練、自覚そして能力

1. 教育訓練の計画、実施及び記録

1.1 教育訓練の計画

- (1) 勤労・庶務課は、環境安全課の協力のもと、サイト内の従業員及び工場内下請負契約者の従業員への OH&S マネジメントに関する訓練のニーズを示す教育訓練計画を作成する。
- (2) 教育訓練は、全員対象の一般教育と労働安全衛生の直接業務に従事する者を対象とする教育訓練とに区分する。
- (3) 勤労・庶務課は、上記教育訓練計画及び各部署の要求にもとづき、年間教育訓練計画表を作成する。

1.2 教育訓練の実施及び記録

- (1) 年間計画表にもとづいて担当部署が教育訓練を実施する。この実施内容は記録され、勤労・庶務課が保管する。
- (2) 一般教育については、環境安全課が行うか、又は、一度その教育を受けた社内各部署の管理者あるいは下請負契約者の管理者が、同一教材を用いて、部下を教育することができる。
- (3) 労働安全衛生の直接業務に従事するすべての者に対して行う教育訓練は、原則として環境安全課が実施する。

2. 教育内容

2.1 一般教育

その教育は、次のことを認識させるような内容とする。詳細は、「労働安全衛生教育訓練規定」(TNA-4.4.2-1)による。

- (1) OHSAS 18001 及び労働安全衛生マニュアルの要求事項、労働安全衛生方針、及び労働安全衛生に関する管理基準、手順を遵守することの重要性
- (2) 管理基準、手順からの逸脱した場合の予想される結果
- (3) 各作業・業務が、実際に又は、潜在的にもつ労働安全衛生への影響
- (4) 各人の作業・業務を改善することがもたらす労働安全衛生上の利点
- (5) 労働安全衛生方針、各種基準・手順、緊急事態への対応、その他 OH&S マネジメントシステム上の要求事項を達成する際の役割と責任

制定 2000.5.11	(株)グローバル大森	TN-4.4.2-1
改定	労働安全衛生教育訓練規定	第1版
主管 環境安全課		1/5頁

1. 適用範囲

この規定は(株)グローバル大森の従業員、関係する業者の作業者を対象として、労働安全衛生に関する教育訓練事項を明確にし、規定し、実行し、管理し、維持する事に関して適用する。

2. 管理部署

本手順にかかわる管理は以下の部署が行う。

- (1) 全社管理 勤労・庶務課(環境安全課)
- (2) 運用 全部門

3. 教育訓練の種類

- (1) OFF JT
 - 社外教育：外部研修機関で実施する。免許講習、技能講習、特別教育など
 - 社内教育：社内で主催して実施する。KY講習、職長教育、受入教育など
- (2) OJT
 - 仕事をしながら指導を受けるもので、指導者の資質により結果に差がある。

3. 進め方

- (1) 各部門は「労働安全衛生能力マップ」(様式 TNA-4421-001)と「労働安全衛生資格認定者リスト」(様式 TNA-4422-001)に記載洩れが無くメンテナンスされている事を確認する。
- (2) 「労働安全衛生能力マップ」(様式 TNA-4421-001)と「労働安全衛生資格認定者リスト」(様式 TNA-4422-001)から、教育訓練計画を練り「__年度労働安全衛生訓練計画/実績表」(様式 TNA-4421-002)に記載する。
- (3) 教育訓練の実績は、適時記入し「労働安全衛生能力マップ」(様式 TNA-4421-001)と「労働安全衛生資格認定者リスト」(様式 TNA-4422-001)に登録する。

